

若手職員が活躍する事業現場の紹介

R1-8 後志総合振興局 小樽建設管理部 共和出張所
大川海岸津波高潮危機管理対策事業

事業の目的

大川海岸は、余市町北東部の石狩湾沿岸に属する海岸で、背後の平地には、事業所、小・中学校、保育所、人家が密集し、海岸に並行して道央の大動脈である一般国道5号線が通っています。既存の海岸護岸は老朽化の進行が著しく、倒壊の恐れがあるため、補強によって防護機能の向上や越流による浸水被害を防止し、人命や資産の防護を図ることを目的としています。



- 老朽化でボロボロ⇒倒壊の恐れが大！
- 背後の人命や資産が危険！



- 対策工事でピカピカ⇒倒壊の恐れを回避！
- 背後住民などの安心・安全を確保！



事業
計画

- ・計画の策定
- ・予算の確保

工事の
発注

- ・関係機関協議
- ・設計書の作成

工事の
監督

- ・施工確認
- ・設計変更

施設の
維持管理



担当する若手職員から一言

多くの技術系職員が最初に配属されることになる出張所では、**道路・河川・漁港**事業のいずれかを担当することになります。

共和出張所の漁港担当は小樽市から島牧村までの広大な範囲を担当し、漁港と海岸事業の工事発注・工事監督を行っています。

事業を担当するための色々な法律やルールの把握に大苦戦しましたが、優しい上司と先輩に恵まれ、業務の進め方の理解ができた頃から、段々仕事が楽しくなってきました。

日々の成長を実感しながら、よりよい事業ができるよう頑張ります。

入庁2年目 技師（漁港担当） 中林航

